

## 1 章のまとめ。

今ランチェスター法則の応用研究から、経営のやり方には2種類のやり方があることについて説明してきました。

本来弱者の戦略で経営すべき会社が間違っって強者の戦略で経営をすると、根本的に間違った仕事を全員で実行することになるので、経営効率が悪くなります。

こうなると、従業員1人当たり「**1年間の粗利益**」が、100万～200万円も少なくなってしまう。もし従業員が20人いれば、1年間に発生するロスが2,000万円～4,000万円にもなります。これでは経常利益が出てもほんの少く、たいがい赤字になるはず。

しかし戦略ミスから出るロスは目で見えないばかりか音もしないので、これに気付かないで倒産する社長がとて多くなります。

こういう理由から業績を良くするには、あるいは社長が経営戦略の研究をするとき1番重要になるのは、弱者の戦略になることが解かるはず。

この章では、経営システムの作り方と経営の基本原則など経営の大事などところについて説明してきました。このところはしっかりと勉強しておかないと、このあと勉強するとき方向違いに進んでしまうので、この第1章で説明したものは固くて難しいところがありますが、逃げずにしっかりと研究して下さい。